

**製品名: X11γ ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab19944**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	61kDa

## 抗原情報

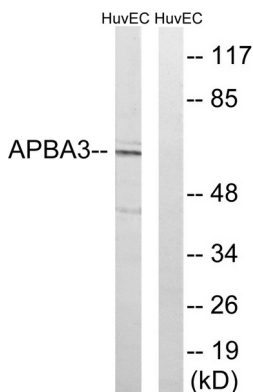
遺伝子名	APBA3
別名	APBA3; MINT3; X11L2; Amyloid beta A4 precursor protein-binding family A member 3; Adapter protein X11gamma; Neuron-specific X11L2 protein; Neuronal Munc18-1-interacting protein 3; Mint-3
遺伝子 ID	9546.0
SwissProt ID	O96018
免疫原	抗血清はヒト APBA3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 361-410

## 背景

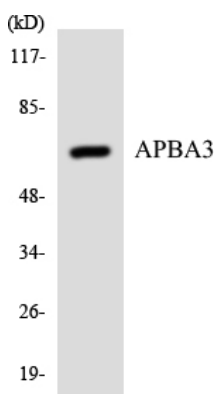
アミロイドβ前駆体タンパク質結合ファミリーAメンバー3 (APBA3) ヒト この遺伝子によってコードされるタンパク質は、X11タンパク質ファミリーのメンバーです。これは、アルツハイマー病のアミロイド前駆体タンパク質と相互作用するアダプタータンパク質です。この遺伝子産物は、シグナル伝達プロセスに関与していると考えられています。この遺伝子は、アルツハイマー病の候補遺伝子です。 [RefSeq 提供、2008年7月],ドメイン:N末端ドメイン、βアミロイド前駆体タンパク質の細胞質ドメインとの結合を媒介する中間リン酸化チロシン結合ドメイン (PID/PTB)、およびタンパク質を細胞膜に付着させると考えられる2つのC末端PDZドメインで構成される。機能:βアミロイド前駆体タンパク質 (APP) のプロセッシング、ひいてはβAPPの形成を調節する可能性がある。、類似性:1つのPDZ (DHR) ドメインを含む。、類似性:1つのPIDドメインを含む。、類似性:2つのPDZ (DHR) ドメインを含む。、サブユニット:生体内でアミロイドタンパク質 (APP) の細胞質ドメインに結合します。、組織特異性:検査したすべての組織で発現し、脳と精巣では低いレベルで発現している。、

## 研究分野

## 画像データ



APBA3抗体を用いたHUVEC細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



APBA3抗体を使用したCOLO205細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。